

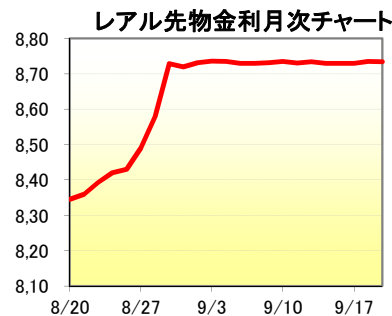
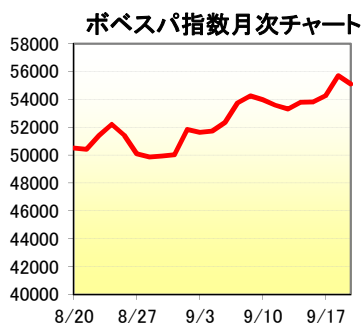
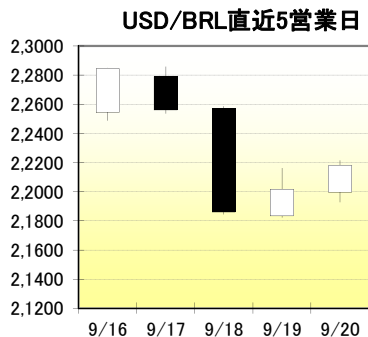
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			9月16日	9月17日	9月18日	9月19日	9月20日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2790	2,2590	2,1910	2,2000	2,2180	+0,0180
	USD/YEN	Spot	99,06	99,12	98,02	99,44	99,36	-0,0800
	EUR/USD	Spot	1,3335	1,3353	1,3497	1,3535	1,3517	-0,0018
	BRL/YEN	Spot	43,37	43,94	44,84	45,16	44,94	-0,2200
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,58	1,55	1,49	1,41	1,37	-0,0445
		1Year(p.a.)	1,87	1,90	1,75	1,64	1,60	-0,0408
	Real Interest	6MTH(p.a.)	9,61	9,59	9,47	9,49	9,50	+0,0131
		1Year(p.a.)	10,21	10,12	9,90	9,98	9,89	-0,0948
Stock	Bovespa		53.822	54.271	55.703	55.096	54.110	-985,66
Bond	CDS Brazil 5y		167,87	164,50	145,95	145,95	149,58	+3,6290
	Global 40		117,025	118,250	117,000	117,525	117,625	+0,1000

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
IBGEインフレ率IPCA-15(前月比,9月)	0.28%	0.27%	0.16%	
IBGEインフレ率IPCA-15(前年比,9月)	5.94%	5.93%	6.15%	
登録雇用創出合計(8月)	90000	127648	41463	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は US\$1=R\$2. 2540 で寄り付いた。
- 週初はローレンス・サマーズ氏が米 FRB の次期議長の候補を辞退するとの報が好感され、レアルは上窓を大きく開けて寄り付いたが、直後から輸入企業と思しきドル買いが見られるとレアルは週間安値となる US\$1=R\$2. 2840 まで反落した。
- 翌 17 日には米 FOMC を控えて薄商いとなる中、大口の資金流入の噂が聞かれると、レアルはじりじりと 2.26 台前半まで買い戻された。
- 週央には米 FOMC の結果が発表され、債券購入規模の縮小を見込む市場予想に反して毎月 850 億ドルの債券購入ペースを維持する方針が示されたことを受けてレアルは週間高値となる US\$1=R\$2. 1860 まで急進した。
- 翌 19 日にはマンテガ伯財務相の「中銀の介入プログラムは柔軟であり、必要に応じて変更することができる」との発言を受けてレアルが 2.20 台前半まで売られたほか、米失業保険などの経済指標が堅調な結果となったことから米金融緩和縮小を警戒する動きが見られ、レアルは 2.21 台後半まで反落した。
- 週末にかけては米セントルイス連銀のブロード総裁が 10 月の会合で「小規模な」緩和縮小を決定する可能性があることをコメントしたことを受けて対主要通貨でドルが上昇、レアルは 2.22 台前半まで下落した後、一時資金流入の噂から買い戻されるも、結局 US\$1=R\$2. 2180 で越えた。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
9/23	FGV CPI IPC-S	Sep 22	0.28%	0.27%
9/23	税収	Aug	84500M	94293M
9/23	Trade Balance Weekly	Sep 22	--	\$617M
9/24	FGV消費者信頼感	Sep	--	113.1
9/24	経常収支	Aug	-\$5081M	-\$9018M
9/24	対内直接投資	Aug	\$3750M	\$5212M
9/25	FIPE CPI-週次	Sep 22	0.17%	0.16%
9/25	FGV建設コスト(前月比)	Sep	0.36%	0.31%
9/25	PPI 製造業(前月比)	Aug	--	1.19%
9/25	PPI 製造業(前年比)	Aug	--	4.96%
9/26	失業率	Aug	5.6%	5.6%
9/26	長期レート	Sep 26	5.00%	--
9/27	FGVインフレIGPM(前月比)	Sep	1.42%	0.15%
9/27	FGVインフレIGPM(前年比)	Sep	4.31%	3.85%
9/27	Outstanding Loans MoM	Aug	--	0.6%
9/27	融資残高	Aug	--	2546B
9/27	個人ローン・デフォルト率	Aug	--	7.2%
9/27	Private Banks Lending	Aug	--	1259B
9/27	中央政府財政収支	Aug	0.5B	3.7B

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.18-2.30

今週は米 FOMC が開催され、市場予想に反してバーナンキ FRB 議長ら金融当局者は現行 850 億ドルの月間債券購入額のペースを維持する方針を示した。市場では購入規模の縮小が予想されていたが、金融当局は購入規模縮小には景気回復のさらなる証拠が必要だとの見解を示した。ドルは対主要通貨で大きく下落し、レアルは 3 ヶ月振りに高値を更新する展開となった。市場では引き続き金融緩和縮小のタイミングを見定める動きが見られると予想され、今後の雇用統計を中心とした米経済指標の結果が注目される。継続的な改善が見られた場合には米セントルイス連銀のブロード総裁がコメントしたように、10 月にも緩和縮小が始まる可能性があり、その場合には再びレアル売り圧力が強まるであろう。来週は国内では失業率が注目され、海外では米第 2 四半期 GDP が発表されるほか、米国各地で多数の米地区連銀総裁のスピーチが予定されており、今後の緩和ペースを巡る議論が注目されるであろう。内容次第ではレアル相場は引き続き大きく動く可能性があり、注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department